



“地域のことは地域で考えよう”

2015年2月26日

## おきぎん県内景況・速報 2015年1月

— 県内景況は、拡大している —

### ■ 個人消費

スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。

百貨店売上高も前年同月を上回る。

家電卸出荷額は前年同月を下回り、新車販売台数も下回る。

### ■ 建設関連

公共工事請負金額は前年同月を下回る。

生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

### ■ 観光関連

入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も上回る。

ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。ホテル客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入(推計値)は上回る。

### ■ 企業倒産

件数は前年同月と同数、負債総額は下回る。

## 現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

おきぎん県内景況・速報(2015年1月分)

◎2015年1月 おきぎん「カトレア」景況図



◎概況：県内景況は、拡大している。

1月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回りました。百貨店売上高は衣料品や食料品などが好調で、前年同月を上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、太陽光パネルの売上減少などにより前年同月を下回りました。新車販売台数は消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減などにより前年同月を下回りました。

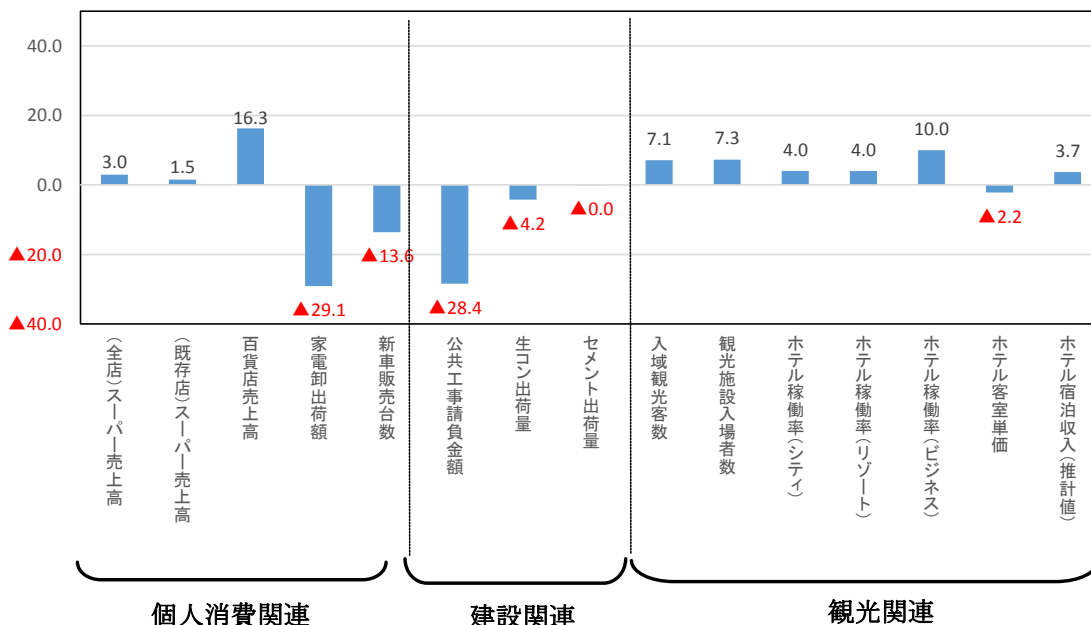
建設関連では、公共工事請負金額は、沖縄県やその他の公共的団体での前年あった大型工事の反動などで前年同月を下回りました。建設資材である生コン、セメントもともに下回りました。

観光関連では、入域観光客数は28ヵ月連続で前年同月を上回り、観光施設入場者数も前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回りました。ホテル客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入(推計値)は上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費において消費税増税に伴う駆け込み需要の反動等による影響が和らいでおり、また、建設関連や観光関連では堅調な動きが続いていることから「県内景況は拡大している」と景気判断を据え置きました。(2014年2月の上方修正後から12ヵ月連続で判断維持)

主要景気指標前年同月比

(単位:%、ポイント)



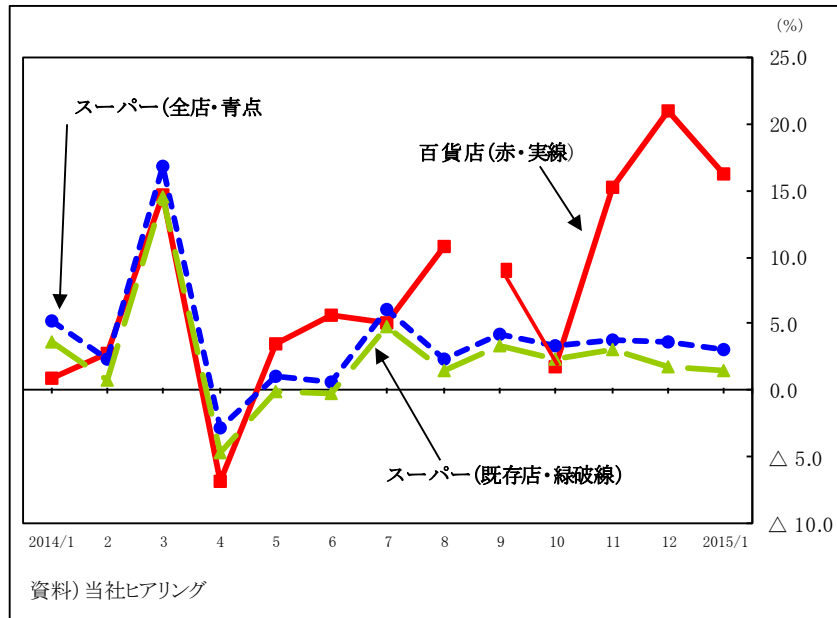


■個人消費: (やや良い)

①スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。百貨店売上高は前年同月を上回る。

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2014/1	5.2	3.6	0.9
2	2.4	0.8	2.8
3	16.8	14.6	14.7
4	△ 2.8	△ 4.7	△ 6.8
5	1.1	△ 0.1	3.5
6	0.6	△ 0.2	5.7
7	6.1	4.8	5.0
8	2.3	1.5	10.8
9	4.2	3.4	<b>8.8</b>
10	3.4	2.4	<b>1.7</b>
11	3.8	3.0	<b>15.2</b>
12	3.6	1.7	<b>21.0</b>
2015/1	3.0	1.5	<b>16.3</b>

単位:%



注1) 前年同月比

注2) 百貨店売上額については、2014年9月よりサンプル数の変更に伴い、8月までの数値と連続しないため、使用する際は注意する必要があります。

1月の個人消費関連では、**スーパー売上高**は「全店ベース(前年同月比3.0%増)」が9ヵ月連続で前年同月を上回りました。昨年に比べて土曜日が1日多かったほか新規出店効果などからウェイトの高い「食料品(同3.3%増)」を中心に売れ行きが堅調で前年同月を上回りました。

「既存店ベース(同1.5%増)」では7ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別でみると、ウェイトの高い「食料品(同1.4%増)」は、旧正月(昨年:平成26年1月31日⇒今年:平成27年2月19日)需要がなかったものの、生鮮全般(精肉・水産・青果)の売れ行きが堅調で、前年同月を上回りました。家電を含む「家庭用品(同2.3%増)」は全般的に気温が低く推移したことから家庭雑貨(寝具関連)の売れ行きが堅調だったほか、訪日観光客向けの雑貨需要などもみられ、前年同月を上回りました。また、「衣料品(同0.5%増)」は気温が低く推移したことから、冬物衣料の売れ行きが伸び、前年同月を上回りました。

**百貨店売上高\***は、昨年に比べて土曜日が1日多かったこともあり「衣料品」や「食料品」の売れ行きが好調で前年同月を上回りました(同16.3%増)。内訳をみると、ウェイトの高い「衣料品(同8.2%増)」は冬物衣料バーゲンセールなどの販促効果から売れ行きが好調で、「婦人服(同4.9%増)」を中心に前年同月を上回りました。「食料品(同10.6%増)」も初開催の催事に加え、生鮮(精肉・水産・青果)などの売れ行きが好調で前年同月を上回りました。

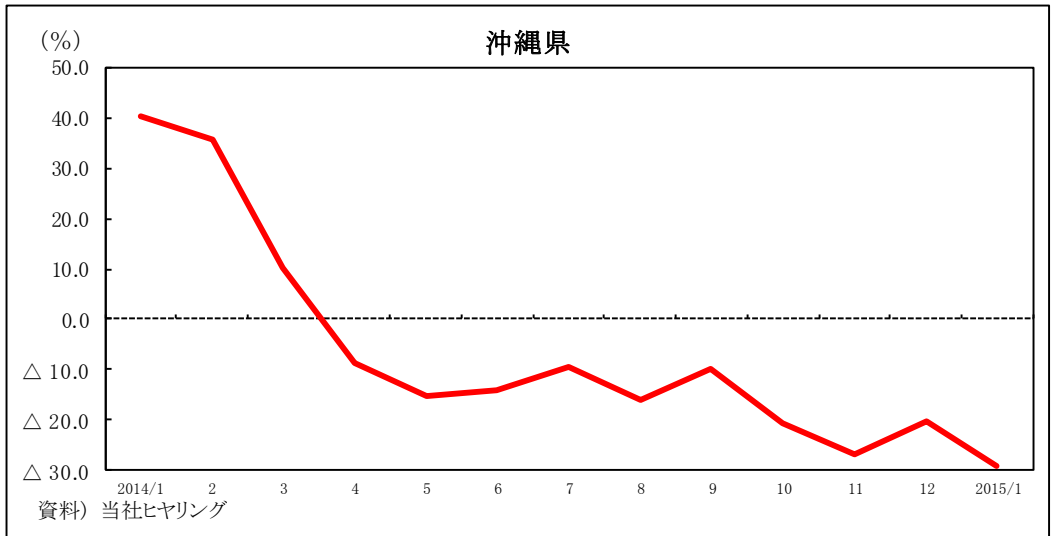
また、「雑貨(同39.5%増)」や「身の回り品(同11.1%増)」なども、初商いの福袋や訪日観光客向けの売れ行きが好調で前年同月を上回りました。

\*百貨店売上高については、2014年9月分より調査手法変更(サンプル数が異なる)に伴い、8月分までの時系列データと連続していません。ご利用の際は、その点、ご留意頂けますようお願い申し上げます。

②家電卸出荷額…太陽光パネルの売上減少などにより前年同月を下回る。

単位:%

	沖縄県
2014/1	40.4
2	35.6
3	10.2
4	△ 8.7
5	△ 15.3
6	△ 14.2
7	△ 9.6
8	△ 16.1
9	△ 9.7
10	△ 20.8
11	△ 26.9
12	△ 20.1
2015/1	△ 29.1



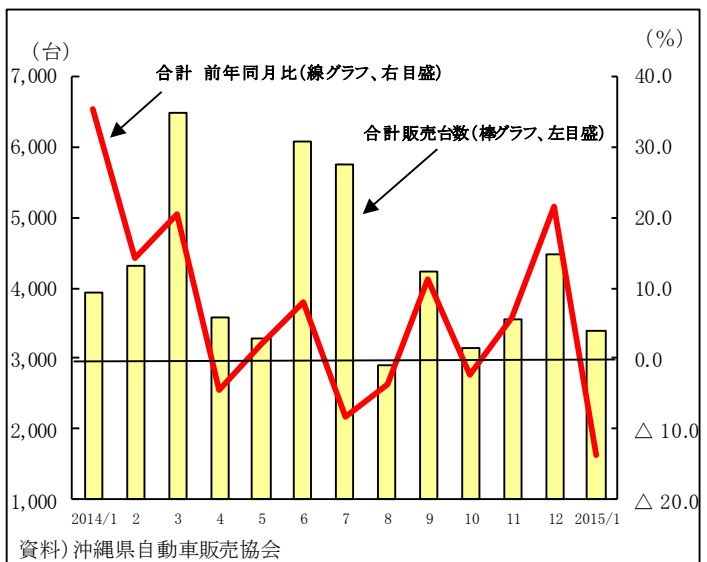
注) 前年同月比

**家電卸出荷額**は、継続的な太陽光パネルの売上減少に加え、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減がみられ、10 ヶ月連続で前年同月を下回りました(同 29.1%減)。品目別でみると、「太陽光パネル(同 89.3%減)」は新規接続中止の影響から売上減少が続いています。「テレビ(同 12.1%減)」は4Kなどの新型モデルの売れ行きが低調で前年同月を下回りました。「エアコン(同 15.7%減)」、「冷蔵庫(同 33.6%減)」や「洗濯機(同 20.3%減)」といった白物家電全般は、昨年、量販店が増税前の在庫確保へ動いた反動減などから、前年同月を下回りました。

③新車販売台数…消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減などから、前年同月を下回る

単位:台,%

	台数	合計	普通乗用車	小型乗用車	軽乗用車
2014/1	3,929	35.4	54.4	61.6	24.4
2	4,307	14.1	43.0	△ 7.2	17.1
3	6,481	20.5	26.1	23.1	15.8
4	3,590	△ 4.6	△ 12.9	△ 20.3	4.9
5	3,284	2.1	△ 0.9	△ 2.0	5.1
6	6,075	8.1	3.8	3.8	17.9
7	5,756	△ 8.2	15.3	△ 9.9	△ 11.9
8	2,914	△ 3.6	1.8	△ 4.7	△ 3.0
9	4,229	11.1	21.5	△ 3.7	8.8
10	3,152	△ 2.3	△ 6.1	△ 35.1	12.3
11	3,554	5.9	△ 29.2	△ 3.5	14.0
12	4,483	21.5	△ 17.7	△ 11.3	43.9
2015/1	3,394	△ 13.6	△ 17.0	△ 19.1	△ 13.9



注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

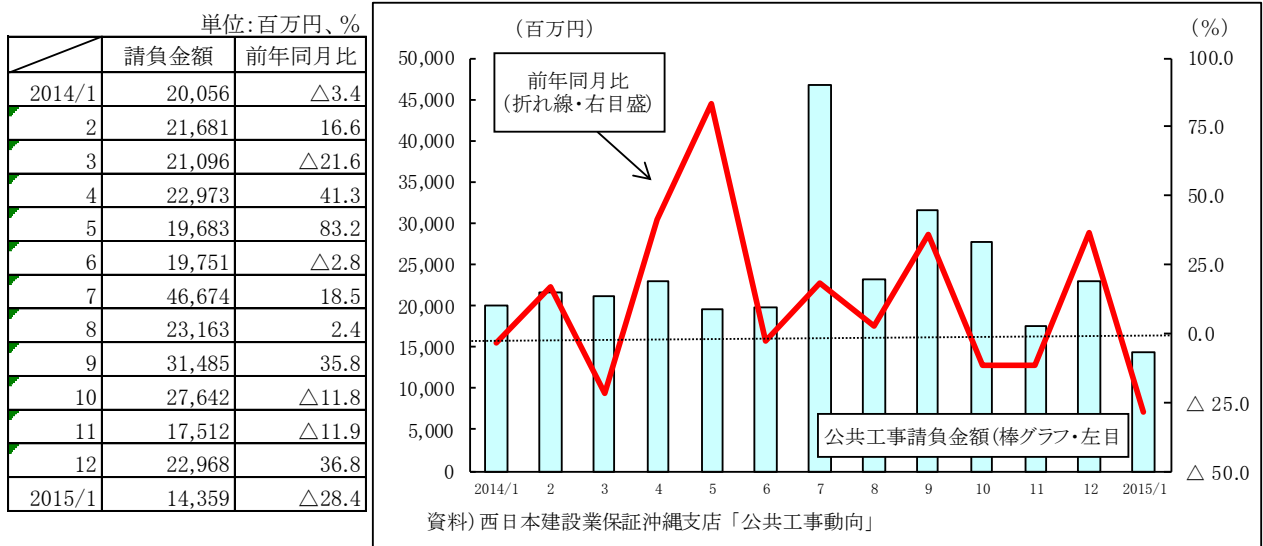
**新車販売台数**は、全体で3,394台(同13.6%減)となり、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減などから3ヵ月振りに前年同月を下回りました。車種別にみると「普通乗用車(同17.0%減)」が4ヵ月連続、「小型乗用車(同19.1%減)」が7ヵ月連続、「軽乗用車(同13.9%減)」が5ヵ月ぶりに下回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。



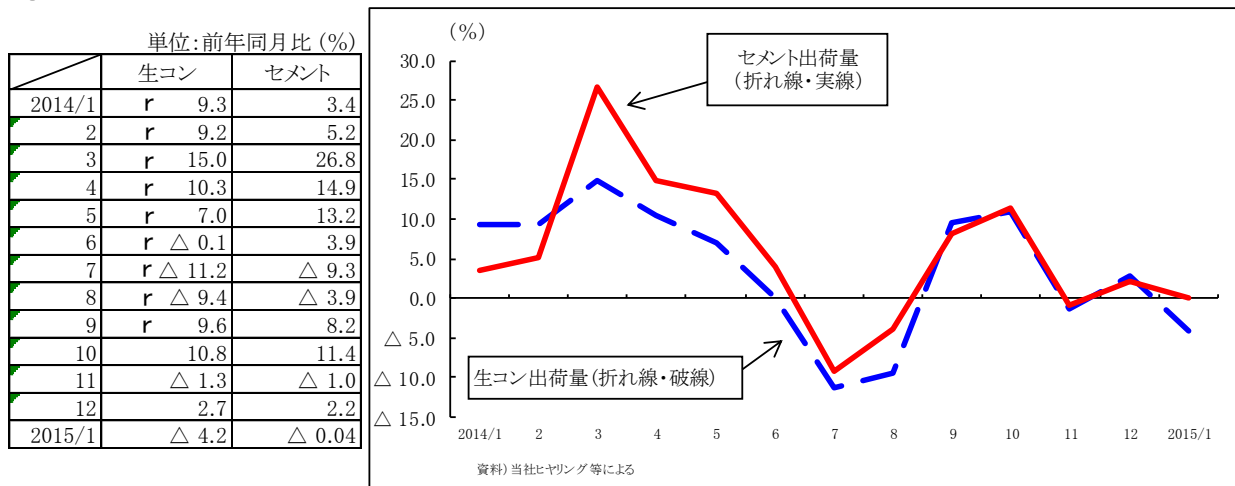
■ 建設関連: (やや良い)

①公共工事…公共工事請負金額は前年同月を下回る。



1月の公共工事請負金額は、前年同月比 28.4%減の 143 億 5,900 万円となりました(2ヵ月ぶり減)。発注者別でみると、「市町村(同 61.9%増)」が小中学校関連工事等で前年同月を上回ったものの、「国(同 28.3%減)」は前年あった那覇空港滑走路関連の工事の反動、「独立行政法人等(同 91.4%減)」は大学関連工事の反動、「沖縄県(同 56.0%減)」は国際物流拠点施設新築工事の反動、「その他の公共的な団体(同 79.4%減)」はし尿処理施設更新工事の反動などで前年同月を下回りました。

②建設資材…生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

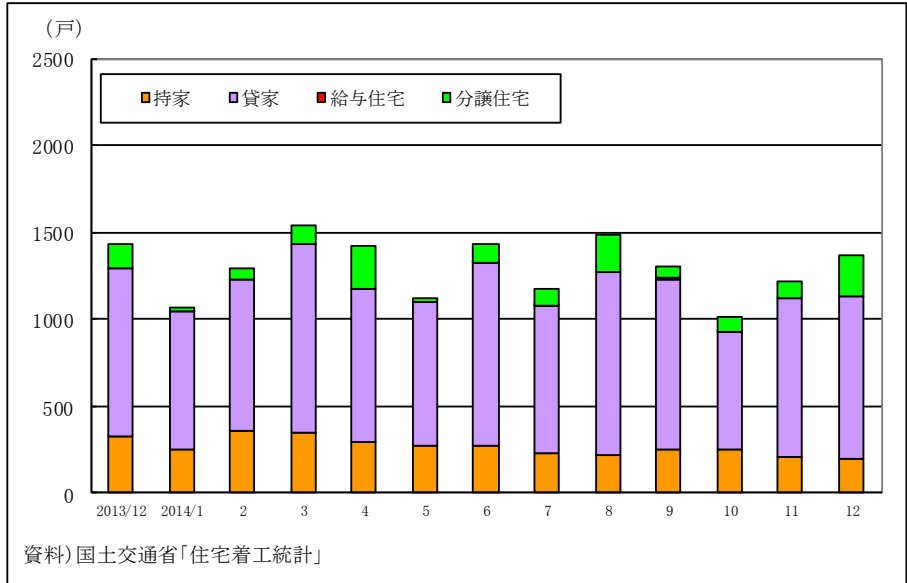


(注1) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある  
(注2) 生コンデータは、9月より調査対象先を増やした為、適及し修正している

**建設資材関連**では、**生コン**の出荷量は 4.2%減少し、2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より 11.2%上回ったものの、民間工事向け出荷は 12.0%下回りました。**セメント**の出荷量は 0.04%減と 2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。

【参考】住宅投資(12月)…着工戸数は前年同月を下回る。

	着工戸数	前年同月比
2013/12	1,437	49.5
2014/1	1,065	△1.7
2	1,298	11.7
3	1,540	39.6
4	1,418	36.2
5	1,116	25.0
6	1,432	34.1
7	1,172	△34.0
8	1,482	△5.3
9	1,301	△35.4
10	1,018	△35.6
11	1,216	△35.8
12	1,368	△4.8



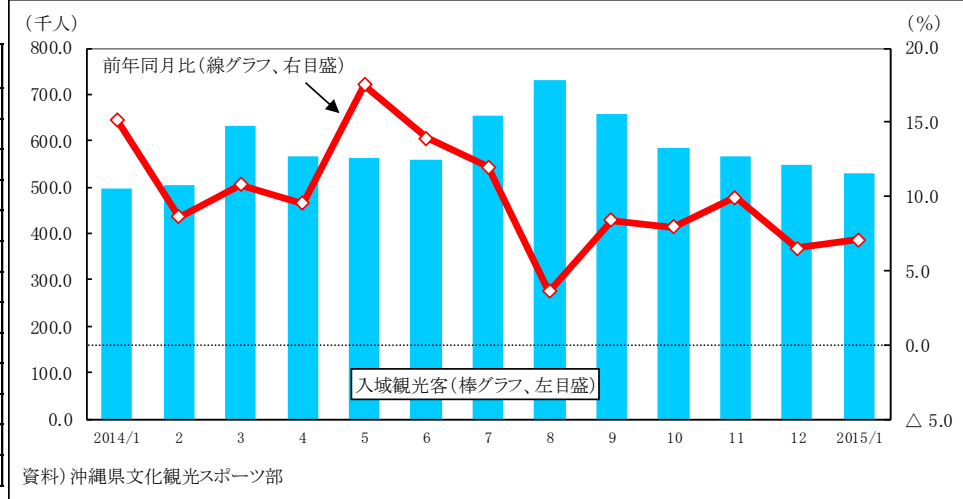
新設住宅着工戸数(12月)は、全体で前年同月比4.8%減の1,368戸と6ヵ月連続で前年同月を下回りました。利用別戸数をみると、「分譲住宅(同70.9%増)」は前年同月を上回ったものの、ウェイトの高い「貸家(同3.3%減)」をはじめ、「持家(同41.4%減)」も前年同月を下回りました。



■観光関連: (良い)

①入域観光客数(国内客・外国客の合計)…28ヵ月連続で前年同月を上回る。

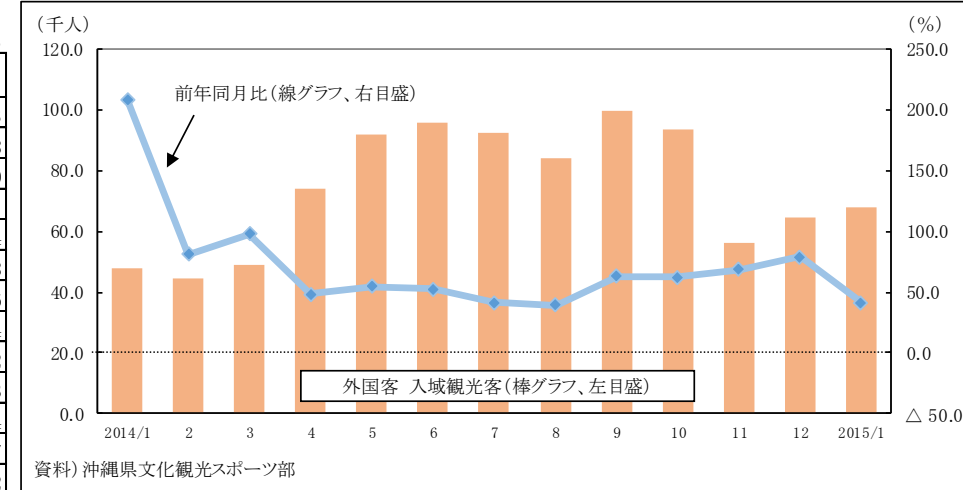
単位:千人、%		
	入域観光客	前年同月比
2014/1	495.1	15.2
2	503.1	8.6
3	630.2	10.8
4	565.6	9.5
5	561.4	17.5
6	557.3	13.9
7	653.9	12.0
8	731.2	3.6
9	658.7	8.4
10	586.0	7.9
11	564.5	9.9
12	549.2	6.5
2015/1	530.1	7.1



※外国客は乗務員等を含む

外国客 入域観光客数…18ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位:千人、%		
	入域観光客	前年同月比
2014/1	48.1	208.3
2	44.3	80.8
3	48.7	98.0
4	73.9	48.1
5	91.7	54.4
6	95.5	52.8
7	92.3	41.6
8	84.2	39.4
9	99.9	63.2
10	93.8	62.3
11	56.4	68.4
12	64.7	78.7
2015/1	67.9	41.2



※外国客は乗務員等を含む

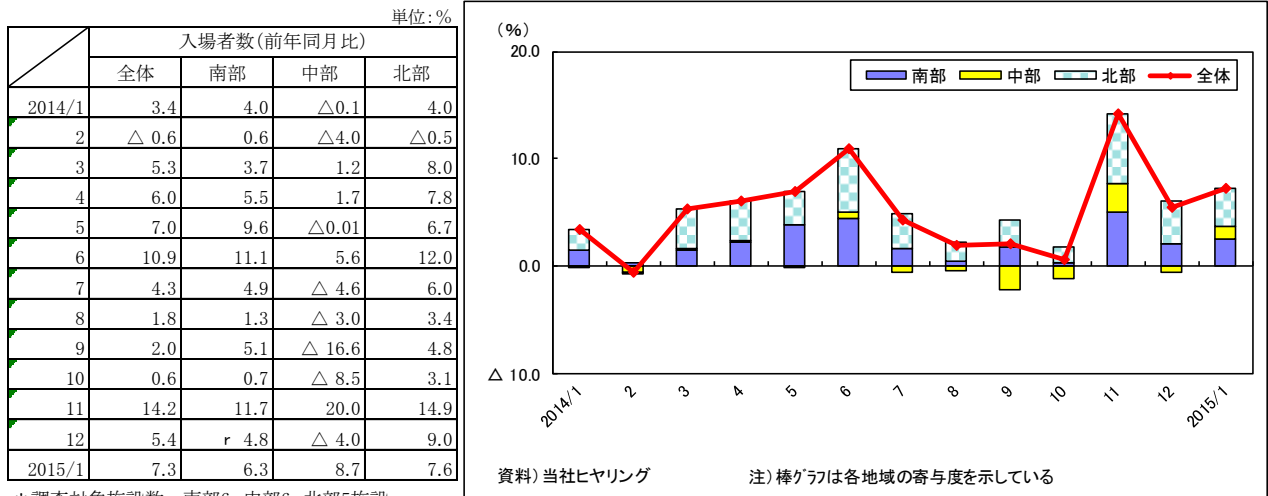
1月の入域観光客数は、35,000人多い530,100人(前年同月比7.1%増)となり、28ヵ月連続で前年同月を上回りました。(1月としては過去最高)

内訳をみると、「国内客(同3.4%増)」は462,200人と、一部航空路線の運休により成田からの入込が減少したものの、関西や福岡方面は、航空路線の拡充(伊丹-那覇路線、LCC効果)やスポーツ大会の団体需要などにより好調に推移したことなどから、15ヵ月連続で前年同月を上回りました。

他方、「外国客(同41.2%増)」は、67,900人と18ヵ月連続で前年同月を上回りました。昨年と比べ、春節(旧正月)の時期が後ろにずれた(昨年:平成26年1月31日⇒今年:平成27年2月19日)ことなどにより中国本土からの入込が減少したものの、航空路線の拡充等により韓国方面などからの入込が好調に推移したことなどから、前年同月を上回りました。「台湾(同34.8%増)」「韓国(同112.0%増)」「中国本土(同26.1%減)」「香港(同73.1%増)」

※乗務員等を除く2015年1月実績=全体529,700人(同7.8%増)、外国客67,500人(同51.7%増)、国内客は変わらない。

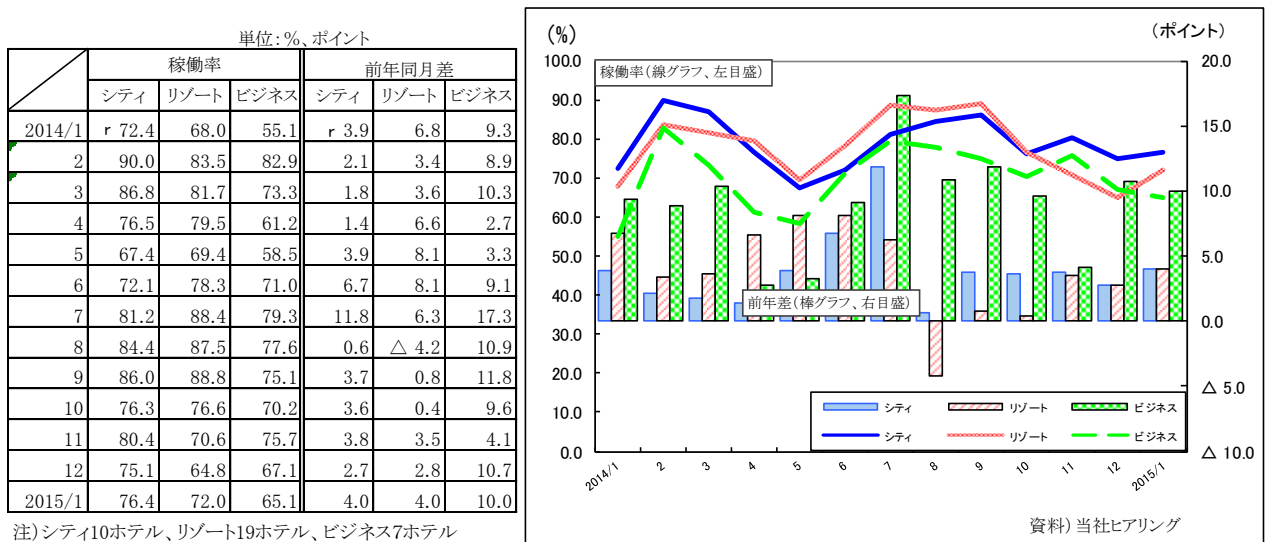
②観光施設入場者数…11ヵ月連続で前年同月を上回る。



\*調査対象施設数=南部6、中部6、北部5施設

観光施設入場者数は、全体で前年同月より7.3%増加(11ヵ月連続)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同6.3%増と15ヵ月連続、中部は同8.7%増と2ヵ月ぶり、北部は同7.6%増と11ヵ月連続で前年同月を上回りました。

③ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。



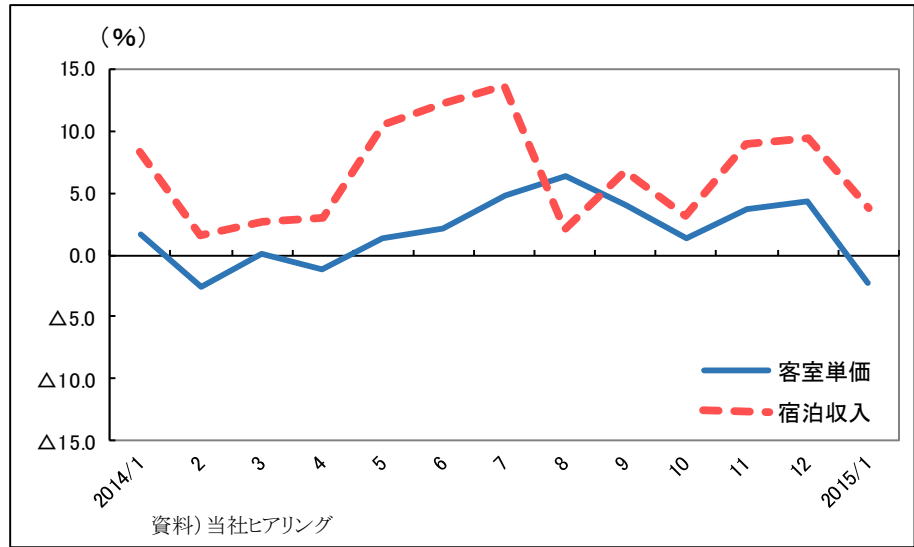
注) シティ10ホテル、リゾート19ホテル、ビジネス7ホテル  
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

県内ホテル稼働率は、シティホテルが76.4%と4.0ポイント上昇(14ヵ月連続)、リゾートホテルが72.0%と4.0ポイント上昇(5ヵ月連続)、ビジネスホテルが65.1%と10.0ポイント上昇(15ヵ月連続)しました。



④ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入は上回る。

単位:%		
	客室単価	宿泊収入
2014/1	1.6	r 8.3
2	△2.6	1.5
3	0.1	2.7
4	△1.2	3.0
5	1.3	10.5
6	2.1	12.2
7	4.8	13.6
8	6.3	2.1
9	4.0	6.8
10	1.4	3.2
11	3.7	9.0
12	4.3	r 9.4
2015/1	△2.2	3.7



※対象施設数:29施設(シティ10、リゾート19)、ビジネスは除く

※客室単価は29施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする

※2014年4月指標より新たに掲載

**ホテル客室単価**(シティ&リゾート)は前年同月比 2.2%減と前年同月を下回ったものの、**宿泊収入**は同 3.7%増と前年同月を上回りました。

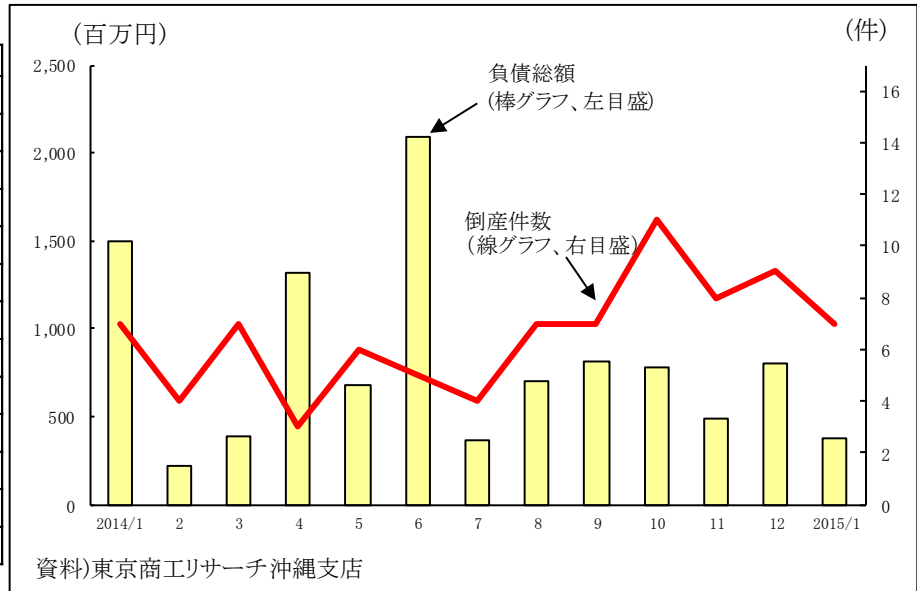


■企業倒産: (ふつう)

企業倒産…件数は前年同月と同数、負債総額は下回る。

単位:百万円、件

	負債総額	倒産件数
2014/1	1,492	7
2	214	4
3	386	7
4	1,314	3
5	683	6
6	2,090	5
7	361	4
8	697	7
9	808	7
10	774	11
11	487	8
12	806	9
2015/1	375	7



1月の企業倒産件数は、7件(うち、1億円以上の大口倒産1件)発生し前年同月と同数、負債総額は3億7,500万円と74.9%減少しました。

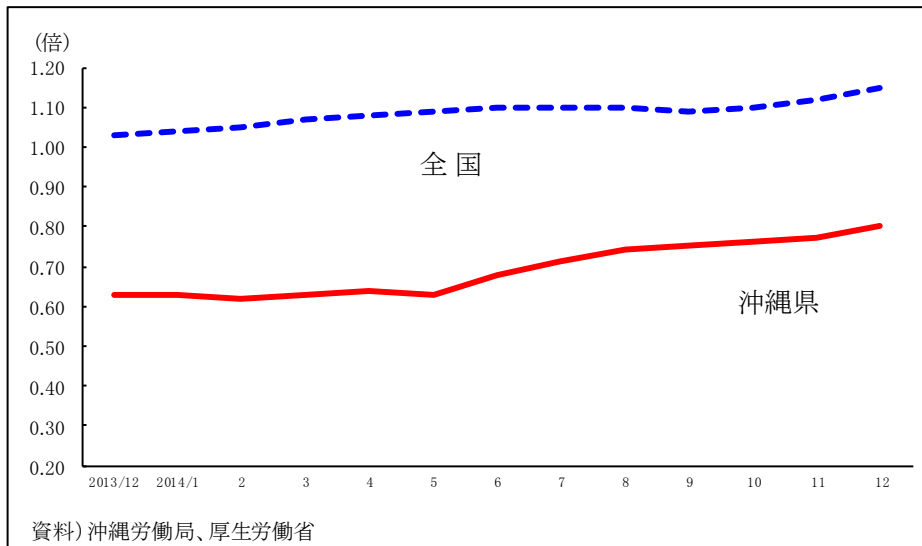


【参考】雇用関連: (やや良い)

(参考)有効求人倍率(12月)…前月より上昇。

単位:倍

	沖縄県	全国
2013/12	0.63	1.03
2014/1	0.63	1.04
2	0.62	1.05
3	0.63	1.07
4	0.64	1.08
5	0.63	1.09
6	0.68	1.10
7	0.71	1.10
8	0.74	1.10
9	0.75	1.09
10	0.76	1.10
11	0.77	1.12
12	0.80	1.15

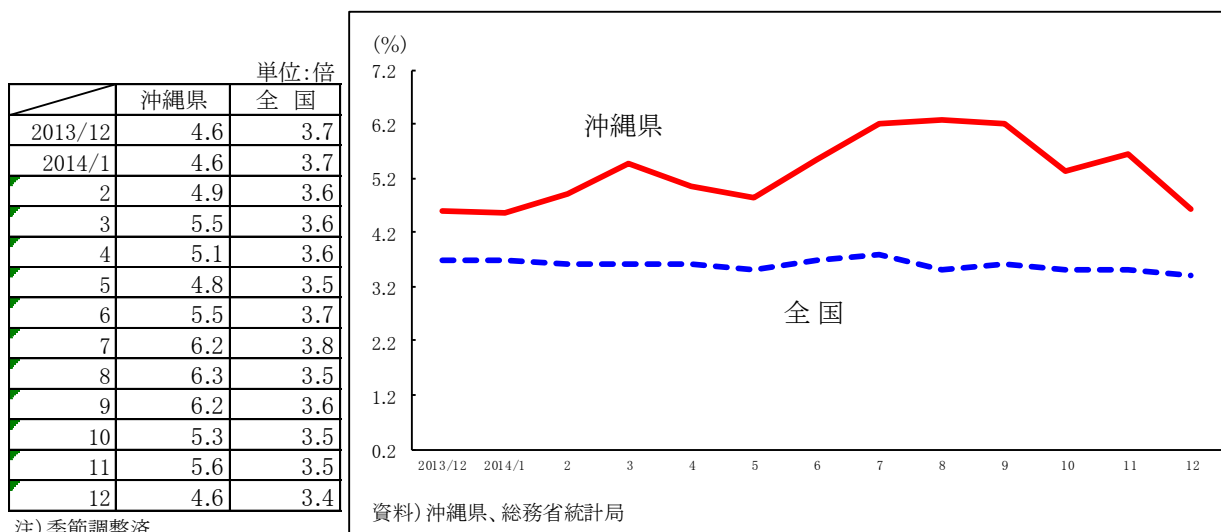


注)季節調整済

注)季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による

12月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)は前月比3.9%増の23,592人に対して、月間有効求職者数(同上)は同0.2%減の29,368人となり、有効求人倍率(季節調整値)は0.80倍となり前月より0.03ポイント上昇しました。

(参考) 完全失業率(12月)…前月より下落。



注) 季節調整済

12月の完全失業率(季節調整値)は、4.6%となり前月より1.0ポイント下落しました。